

## 第二十回北海道朝陽会観察記

一九八四年の第一回北海道朝陽会以来、毎年「七月第一土曜日午後六時、札幌グランドホテル」に相集うようになって、昨年で二十回を数えるに至った。

昨年七月五日(土)夕刻、同ホテル最上階に、名簿搭載者百九名中の二十二名に加え、北海道ゴルフツアー参加者四名の計二十六名が集い、爽やかな夏の北海道の夕夕を楽しく過ごした。

会は27永瀬俊明さん(間組)の司会で、当日最長老の中14伊藤尚蔵さん(伊藤税理士事務所)の挨拶、北海道朝陽会の礎である中21遠藤象三さん(遠藤興産)ご発声による乾杯に引き続き、出席者全員の近況報告が行われた。今回四名の方が新たに追加されたが、そのうち14吉岡征雄さんは、検事退官後弁護士に転じ、日本最北の稚内に彩北法律事務所を開設して「話題の人」となっている。その吉岡さんの「弁護士のうち5%位は、どうか、と思われる人がいる」というお話を受けて、新たに日立から北大に転じた17毛利峻治さんから「国立大学の場合、その比率は50%位」という爆弾発言も飛び出し、会場は大いに盛り上

がった。また、この会に合わせて企画されたゴルフツアーには、日銀札幌支店から本店に転勤した25大野修一さんと18大塚清、豊嶋八重子、渡辺玲子の各氏が東京から参加したが、次回は、14榎本圭輔さんの早来りゾートを使わせて頂くということになった。このほか、多くの参会者から、北海道で新築高校の名を聞くこともないだろうと思っていたが、様々な場面で卒業生に遭遇し、改めて、その伝統の力を実感し



ている旨の発言が相次いだ。

「六中健児の歌」の斉唱と記念撮影の後、これも恒例となっている遠藤さん主催のビアホールでの二次会に懇談の場を移し、大いに飲んで語り合った。それでも飽き足らない面々は、今回欠席した28曾根司さんのスキンの店を訪れ、目付が変わるのもモノともせず、しつこく旧交を温め続けたのであった。

こうして、今回の北海道朝陽会も盛会のうち幕を閉じたが27松野功・淳子ご夫妻(現在東京在住)、17吉村正・桃子ご夫妻と続いた幹事役を、五年前から引き継いでいた20吉野さんの提案で、今後、その任期を五年とし、次回から五年間は18山崎、その後の五年間は27永瀬さんということになった。ということ、今後五年間は、山崎が連絡役と相成った次第です。ちなみに、今年の北海道朝陽会は七月三日(土)午後六時からです。

(18 山崎一彦記)